

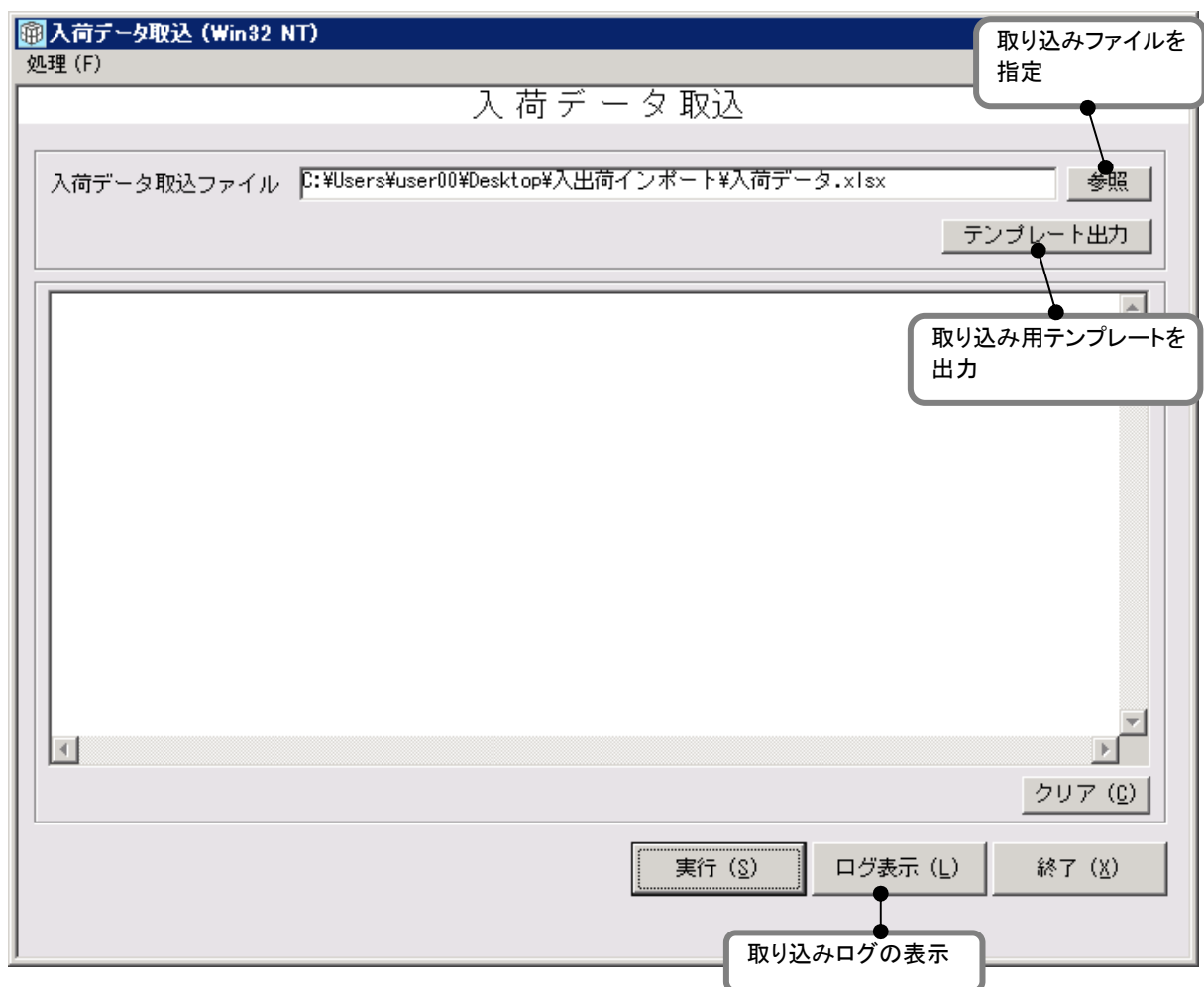


## Ⅱ-08 入荷データ取込

### 入荷データ取込の役割

指定したデータファイルから入荷データを NBS システムの入荷明細として取り込みます。  
 入荷黒伝と返品伝票の取り込みに対応しています(赤伝の作成に対応していません)。  
 取り込み後のデータを修正・削除する場合は NBS システム出荷管理内の「商品仕入入力」を使用します。

### 入荷データ取込 画面説明



# 出荷管理システム

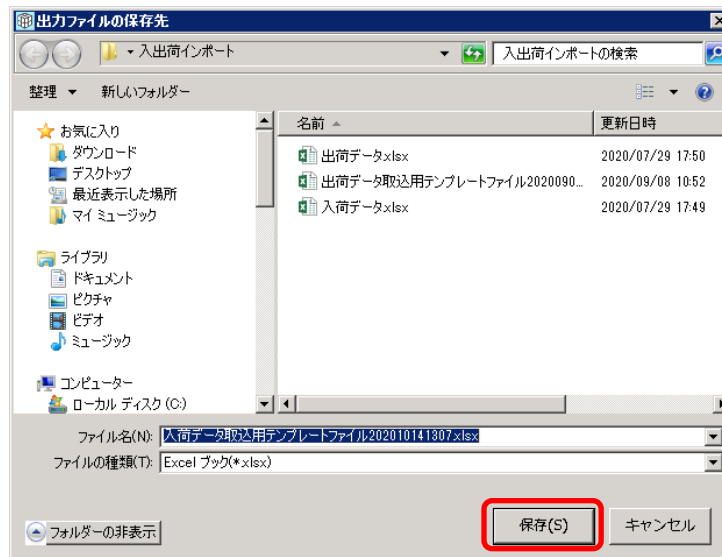


## 操作方法

### 1. テンプレート出力

テンプレート出力ボタン押下し、保存先を選択後に保存ボタン押下にてファイルを保存します。

※保存されたテンプレートファイルへ入荷データを入力します。

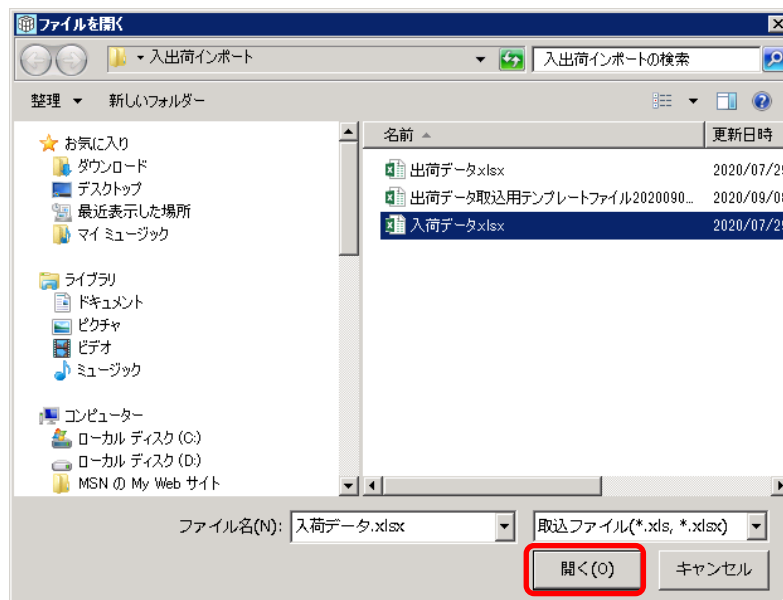


### 2. 参照

取り込むデータファイルを指定します。

参照ボタンを押下し、取り込みファイルを選択後に開くボタン押下にて取り込みファイルを選択します。

取り込み対象ファイルの拡張子は「.xls」「.xlsx」です。

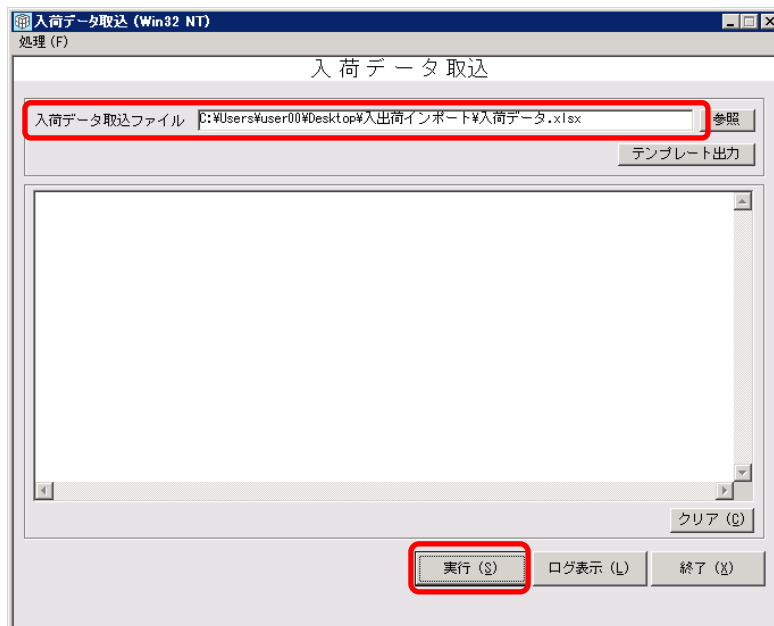


# 出荷管理システム



## 3. 実行

取り込みファイルを選択し、**実行**ボタン押下すると入荷データの取り込みを開始します。

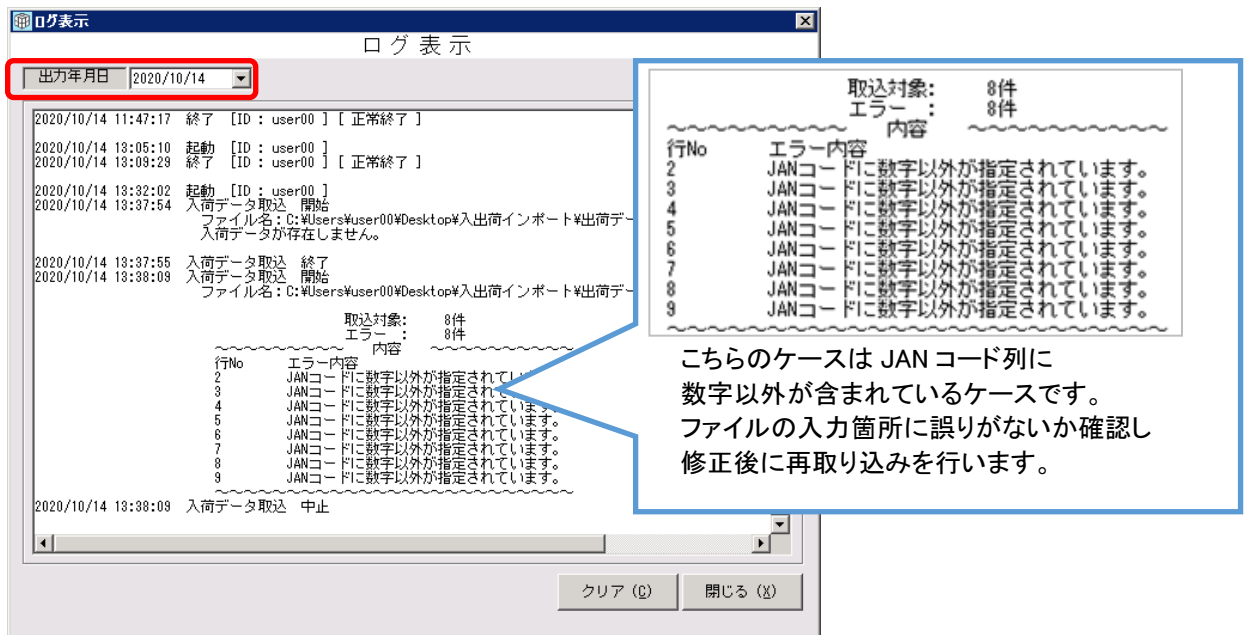


※不正なデータが存在した場合は、ファイル全体の取り込みを中止します。

## 4. ログ表示

**ログ表示**ボタン押下後に、出力年月日を選択すると取り込みログを表示します。

取り込みエラーが発生した場合、ログの内容を確認し修正を行います。



## 5. 終了

**終了**ボタン押下にて、メニュー画面へ戻ります。

# 出荷管理システム



## 入荷データ取り込みのレイアウト

NBS システムへ取り込む Excel ファイルのレイアウトです。

以下のレイアウトは、横軸(X 軸)が[カラー]、縦軸(Y 軸)が[サイズ]の場合を掲載しています。

No.	必須	項目名	形式	桁数	備考
1	○	作業日付	文字	8	8 桁固定(例 2023 年 1 月 5 日→20230105)
2		伝票日付	文字	8	同上 未入力の場合は作業日付と同日付を自動取得
3	○	倉入先本店	文字	6	倉入先本店コード(倉庫・または店舗)
4		倉入先支店	文字	4	倉入先支店コード
5	○	仕入先	文字	6	仕入先コード
6		伝票 No	文字	最大 8	未入力の場合は自動付番
7	△	JAN コード	文字	1	JAN コードマスター利用時に利用 <b>本項目と No.8-11 の品番 SKU 情報の 両方を入力した場合は JAN コードを優先して取り込みを行う</b>
8	△	品番	文字	6	品番を利用する場合は No.8-11 がセットとなる JAN コードを利用する際は入力不要
9		SEQ	数値	1	空白の場合は SKU 情報から自動取得する (別 Seq で同一 SKU がある場合は最小値)
10		サイズ(Y 軸)	文字	6	名称ではなくコードで指定を行う
11		カラー(X 軸)	文字	6	
12	○	数量	数値	6	<b>マイナス数量の場合は、返品データとする</b>
13		原単価	文字	6	未入力の場合はマスター原価を自動取得する
14		値引金額	数値	7	同一行の品番情報有無によって扱いが決まる <b>入力した場合→商品値引き 未入力の場合→仕入先値引き</b>
15		相殺金額	文字	7	同一行の品番情報有無によって扱いが決まる <b>入力した場合→商品相殺 未入力の場合→仕入先相殺</b>

### 【注意事項】

- ・Excel ファイルの 2 行目から取り込み対象となります。1 行目のヘッダー部は削除せず使用してください。
- ・ゼロ始まりのコードを指定する際は、Excel 上でゼロが見える表示形式にしてください。(例:000192 など)
- ・コードを指定する項目については事前に NBS システム上にマスター登録が必要です。
- ・赤伝の作成には対応していません。

### 【出カイメージ】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	作業日付	伝票日付	倉入先本店	倉入先支店	仕入先	伝票No	JANコード	品番	SEQ	サイズ (Y軸)	カラー (X軸)	数量	原単価	値引金額	相殺金額
2	20190311	20190301	SO0001		20022	T00001	5055555500017	0000003	0	011	891	2	3001	0	500
3	20190311	20190302	SO0001		20023	T00002	5055555500017	0000003	0	011	891	1	3000	0	0